

児童館とNPOの
協働事業への
助成

応募期間 2020年1月14日～31日

助成期間 2020年4月～2021年2月

住友生命福祉文化財団Presents

どんどこ

どんどこ 育て大きく
子どもたち

NPOプロジェクト

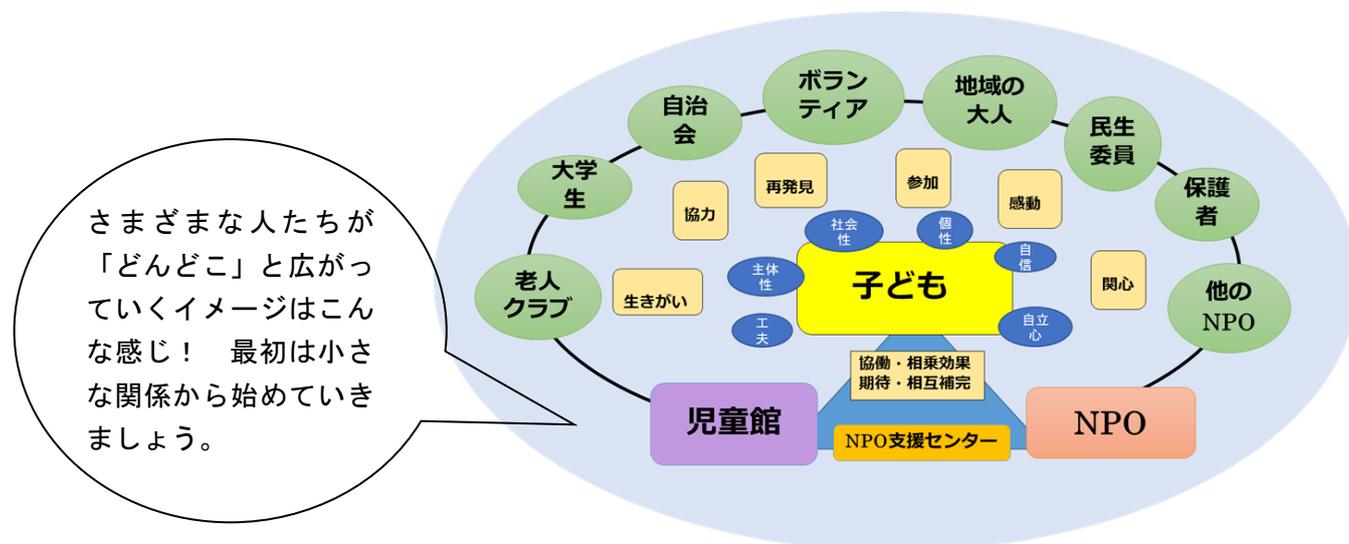
子どものための児童館とNPOの協働事業

2020年度助成事業 応募要項



子どものための児童館とNPOの協働事業（NPOどんどこプロジェクト）とは・・・？

「子どものための児童館とNPOの協働事業」は、次世代が健全に育つ環境を作るために「地域ぐるみで共に支え育ちあう」仕組みを多様な主体の「連携」で作り出すために、子どもの拠点として活動してきた児童館と、地域の課題に主体的に取り組んできたNPOの連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を作ることをめざし、一般財団法人住友生命福祉文化財団からのご支援をうけ、特定非営利活動法人日本NPOセンターと、一般財団法人児童健全育成推進財団により2007年から実施しているプロジェクトです。太鼓をみんなで打ち鳴らすように「どんどこどんどこ」広がるように、「NPOどんどこプロジェクト」という通称をつけました。



助成対象となる事業は・・・？

「どんどこプロジェクト」の趣旨である、児童館とNPOが協働して多様な方々の参画に支えられていること、プログラムにおいて「子どもが真ん中」に据えられ、子どもたちの主体性が発揮される事業であれば、特に「これ」という事業の規定はありません。新規事業を企画しても、既存事業をバージョンアップする形でも結構です。選考委員会では、以下の視点を重視し、審査をいたします。

- 協働性：児童館とNPOの両方の強みを生かして、互いに成長できるか。
- 地域性：地域の様々な関係者を巻き込むことができるか。
- 社会性：地域課題との接点が意識されているか。
- 実現性：実現可能性があるか。予算配分やスケジュールは妥当か。
- 主体性：子どもが主役になれるか。

※年間を通じて複数回行う事業においては、一貫したテーマであることを条件とします。

NPOとの協働経験は問いません。地域のNPOとのつながりが現時点でない場合も応募いただけます（採択後にNPOのマッチングを行います）。児童館「だけ」NPO「だけ」でプログラムを実施するのではなく、事業を通して多様な団体と「どんどこ」つながる可能性を重視します。

【選考について】プロジェクト関係者・外部有識者から構成される審査会において選考を行います。

選考結果は電子メールおよび書面にて通知いたします（選考結果の通知予定：2020年3月下旬）。

助成概要は・・・？

【助成金額】 上限20万円

【助成期間】 2020年4月～2021年2月末日

【助成対象になる経費】 協働事業にかかわる経費（備品費、消耗品費、謝金、交通費、広報費など）を対象とします。

【協働の対象となるNPO】 市民活動団体であれば法人格の有無を問いません。申請時点で協働NPOが見つからなくても申請は可能です。民間運営、指定管理の児童館については、自団体（運営団体）以外を協働相手としてください。事業が採択された時には、協働NPOとのマッチングや事業への助言を行う「事業サポーター」を手配し、企画にみあった協働NPOとプロジェクトを進めていくことができます。

応募方法は・・・？

【応募受付期間】 2020年1月14日（火）～ 2020年1月31日（金） ※13:00必着

【応募方法】 所定の申込み書をダウンロードのうえ、Email/郵送/FAXのいずれかにてお送りください。

ダウンロード先：<https://www.jnpoc.ne.jp/?p=19009>

【応募にあたっての注意事項】

- ・パソコンによる入力、作成をお願いします。印字は黒色をお願いします。
- ・写真・図を使用する場合はモノクロ印刷でわかるものをお使いください。
- ・メール送付の場合、容量が大きくなる場合は届かない場合がありますのでご注意ください。
- ・選考は応募用紙のみで行います。参考資料などの送付は不要です。
- ・応募用紙は返却いたしませんので、コピー（控え）を必ず保管してください。
- ・過去に採択経験のある児童館の応募については申請用紙が異なります。別途ご請求ください。



(QRコード)

■応募用紙の送付先■

一般財団法人児童健全育成推進財団（事業部どんどこプロジェクト担当）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15-7F FAX: 03-3486-5142 メール: dondoko@jidoukan.or.jp

【個人情報を含む受領した情報の取り扱い】

- ・応募用紙に記載の情報は、本プロジェクトの目的以外には利用しません。
- ・助成が決定した事業については本プロジェクトのウェブサイト等で実施児童館、プログラム内容、報告等を掲載します（掲載にあたっては、別途掲載用の情報提供をお願いしております）。

採択後のスケジュールは・・・？

■新規に採択された児童館を対象としたオリエンテーションがあります（2020年4月：東京を予定）

■取り組みをウェブサイトで紹介します（<http://www.npo-dondoko.net/>）

■採択されたすべての児童館を対象とした活動報告会があります（2021年3月：開催場所未定）

※オリエンテーション、報告会に参加するスタッフの方には交通費の補助があります。

児童館×災害支援NPO

災害支援NPOが持つ「防災マップ」づくりのプログラムをもとに、児童館とNPOで意見を出し合い、ロールプレイングゲームとしてアレンジしました。子どもたちは地図を見ながら各所に設けられた関門クリアしてゴール（学校＝避難所）をめざしました。地域の方に幅広く協力を呼びかけた結果、地域ぐるみの取り組みとなり、地域全体で子どもを見守る意識も高めることができました。



児童館×まちづくりNPO

まちづくりNPOが持つネットワーク力やファシリテーション力を得て、子どもたちが考え、企画したことをもとにして、地域の団体に取材を行い、YouTubeに発信する地元紹介のPR動画を作りました。普段は部活や塾で忙しい中高生から小学生まで、幅広い年齢の子どもたちが番組作りを通してお互いに協力できたこと、地域に出て取材をすることで子どもたちの世界観が広がったことなど、多くの学びがありました。



児童館×あそびNPO

プレイワーカーと一緒に活動することで、児童館のあそびがパワーアップしました。子どもたちのチャレンジを後押ししたことが、子ども自身でケガやリスクなどを判断してあそびを展開することにつながりました。児童館のスタッフも、児童館ができるあそびと、プレイワーカーができるあそびに共通した部分を再認識できました。地域の人もあそびの輪に加わってくれたことで児童館と関わるきっかけになりました。



よくあるご質問

Q：やりたいことはありますが、協働NPOを見つけないと応募できませんか？

→協働NPOが未定の場合も応募可能です。採択後、事業サポーターを通してNPOとのマッチングのサポートがありますので、子どもたちと取り組みたい企画があれば、ぜひご応募ください。

Q：放課後児童クラブを併設している児童館です。放課後児童クラブの事業として実施できますか。

→特定の児童のみが対象となる事業ではなく、児童館を利用するすべての児童が参加可能な仕組みとしてください。

Q：私たちの児童館は自治体直営の児童館のため、助成金単独の管理が難しいのですが、どうすればよいでしょうか。→自治体直営の児童館での採択事例などをご紹介しながら地域にあわせて相談いたします。

問合せ先

特定非営利活動法人日本NPOセンター（担当：上田・千代木／dondoko-pj@jnpoc.ne.jp）

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル245 TEL：03-3510-0855

一般財団法人児童健全育成推進財団（事業部どんどこプロジェクト担当／dondoko@jidoukan.or.jp）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会ビル7F TEL：03-3486-5141